

参加者
秋元、内山、在原、斎川、斎藤、
田中、中島、町田、山岡、安田、

BMW RS Club

かわらばん

Sep 4, 05

暑さの続く都心から逃れ
秋の気配を感じる奥日光へ

かわらばん: 中島邦雄 挿絵: 小倉玲子

アメリカではジャズの本場ニュー・オルリズが壊滅的なハリケーンの被害に見舞われ、その被害の様子が連日TVで報道されています。そして日本でも次々と大きな台風が上陸し、都心の中野区や世田谷区では川が増水し、まさかと思われる床上浸水といった案配でした。九月というのに相変わらずの暑さが続き、このところ嘘のような世界規模の異常現象が続いています。それにしてもこの性悪女のようなしつこい暑さとは、もういい加減に縁が切れないものでしょうか。

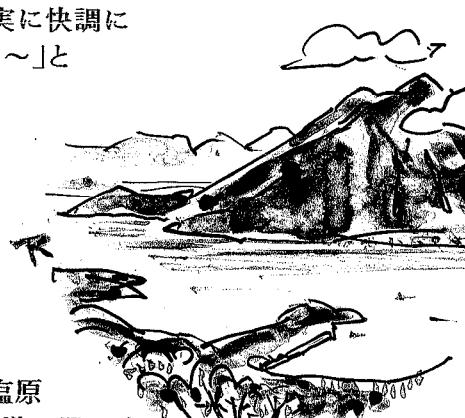
八月の夏休みも終わり再び我々のツーリングが再開されました。この日も台風接近の影響で午後から雨の予報が出され、我々の行く日光方面では昼以降30%の雨予測です。久々に仲間と一緒に走りたい気持と、止めようかなという気持が交錯する中を、「行くだけ行ってみよう」と集合地の東北道「佐野SA」へと向かいました。走り始めると所々で雲が厚くなっています。そんな中で久々に参加の最長老、町田さんとも九人のメンバーが集まり、八時半を回ったところで日光方面へ出発です。花の少ないこの時期ですが、高速道路の左手には行く夏を惜しむかのようにムクゲ(はちす)が随々に咲き残っていました。ほんの一走りで日光宇都宮道路に入ると日の光は見えず、雲を巻き付けたような日光連山が墨絵のように浮かび上がり、左手には渓流が岩を疊るように流れ、気温も幾らか下がってきました。いろは坂を駆け上がりさざ波ひとつ無い中禅寺湖に着くと、ヒメ鯉釣りとおぼしきボートが何隻か浮かんでいました。湖面に霧が立ち幽玄の世界を見る思いです。もう少し先の紅葉の頃にはモミジ狩りで大賑わいの「竜頭の滝」を通り抜け、戦場ヶ原に着くと11時には未だ暫く間が有りました。夏の間は多くの人が訪れるこの辺りも、秋の気配と共に静まりかえり、散策する人の姿もあまり見当たりません。メンバーの内山さんが此處で我々に合流する予定で、ソフトクリームをなめたりお土産を買いながら彼の到着を待ちました。

やがて現れた彼の話では東京の足立辺りは大雨で、彼も一度は帰ろうと思ったとか。早めに食事をして帰宅することになりました。休憩所の少し先を右折して山王峠方面に向かうと、子供の一団が大きな樹々の中を光徳牧場の方へ入って行きました。我々は直進して以前には未舗装だった山王林道を抜け、川俣温泉から今日のお食事処の栗山村へと向かいました。昔の悪路は舗装はあるものの、カーブの多い細い道であることには変わらず、前から来たバスが道一杯にカーブを回り、その傍では私のバイクと擦り違えなかった程でした。川俣温泉ではちょうど間欠泉から湯が吹き上がり、近くにいると飛沫が飛び散り、私が急いでカメラを出して挿絵用に構えていたら、仲間のバイクは走り出し慌てて彼等の後を追いました。以前にクラブで何度か行った一升蕎麦の「北の路」の少し手前に有る「瀬戸合峠」という小綺麗なそば処に着きました。舞茸の天麩羅や鹿刺もあり、やや太めの蕎麦と天麩羅を各々が満喫しました。「昔はこういう時にはグッと一杯やったのにね~」と町田さんがよく飲んだ昔を懐かしんでいました。本当に昔はよく飲んで事故の起きなかつたのが不思議な思いです。

店の外には早くも見事な秋桜(コスモス)が咲き、此処へ来る途中の山路では、日だまりのカエデとウルシの葉先がわずかに色づき始め、平素は都会の真ん中で暑さに辟易する日々ですが、此処へ来て今年も早々に小さな秋を見つけた思いでした。誰かが家に電話を入れると栗山村では薄日が差し始めたのに、東京では大粒の雨が降り出したとか。お互いに無言ですが、「本当かよ~」といった思いで顔を見合わせました。こうなったら帰り着くまで雨に遭わないことを祈るのみです。

腹もよくなつたところで塩原温泉に向かって走り始めました。数台が小さなスタンドに立ち寄りましたが混み合うので、何台かで先のスタンドへ向かいました。直ぐ先に有ったそのスタンドは、一年ほど前に行つた「四季の湯」の前で、店の前の花壇にはオレンジ、白そして赤と色とりどりのグラジオラスが見事に咲いていました。やや雲が広がり出した感じです。

スタンドの人が言うには「間もなく雷が鳴って雨が降り始めるでしょう」との事。さあ急いで帰らないと大変です。長老の町田さんが山の中を実に快調に飛ばし、「ばかに速くなりましたね~」と誰かが言つたら「最近KTMの新車を買って山道で練習している」とか。誰もが恐れ入るばかりで、日塩モミジラインも元気に飛ばしていました。当初の予定では塩原温泉で軽く風呂を浴びる筈でしたが、雨のことが心配で今回はそのまま帰る事になりました。相変わらず塩原温泉から西那須野塩原ICへの狭い道は混み合っていました。曇ってはいても雨の気配は無く、



遊び帰りと思われる車で東北道はかなり混み合いましたが、四時頃に全車が無事に「佐野SA」に帰り着き、此処での解散となりました。「家は此処から直ぐの処だよ」と町田さんが嬉しそうに帰つて行きました。佐野を出ると段々と雲行きが怪しくなり始めました。ポツンと来てすぐに止んだと思ったら、合羽を着る程ではなかったものの、「蓮田SA」に近づいた辺りで一時大粒の雨が降り出しましたが、そこを抜けたら道路も乾いていました。朝から雨におののき乍らの出發でしたが、雨らしい雨にも遭わずに久々の楽しいツーリングを満喫しました。走行距離は各々の出發地点にも因りますが、文京区からの私は450キロでした。幹事の秋元さん。下見に走つたり本当にご苦労様でした。

来月は待望の一泊ツーリングです。平素は仕事などでなかなか参加できない皆様も、このチャンスに是非とも参加されて、旧交を暖めては如何ですか。今回の下呂温泉「水明館」は下呂で一番と云われる宿で、参加費の¥20,000円は高いようですが、それでもなおクラブからの補助がプラスされる程の宿です。話の種にも是非ともご参加ください。

ps; ご存じの方も多いかと思われますが、今年からANAがBMW専用パレットを作り、羽田-新千歳に限つてバイクと一緒に北海道へ飛べることになりました。早速、旧盆の休みに知人と二人で飛び、飛行機を降りればもう愛車が待つて、何とも楽な楽しいツーリングを味わいました。今年も10月一杯位は飛ぶようです。信号無しの10キロの直線の海岸線を飛ばしたり、実に快適ですがスピードにはくれぐれもご注意下さい。小さなバイクと交渉次第ではBMWも函館、中標津、釧路、女満別、稚内などにも飛べるようですが、帰りのみという空港も有るのでご注意を。羽田でガスは抜かれ着くと5Lを入れてくれます。羽田に満タンで来て規則なので全て抜かれる人が居るとか。新千歳からの帰りも同じです。